

2023年度(令和5年度) 新体力テストの結果

生徒質問紙(第2学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	82	18	0	0
女子	20	20	30	30

保健体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	82	18	0	0
女子	30	70	0	0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	91	9	0	0
女子	70	10	0	20

体力・運動能力(第2学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
男子	28.64	25.82	51.09	49.91	67.18		8.03	205.82	19.55	41.45		女子	19.30	23.10	44.60	47.10	48.30		9.05	156.30	12.50	44.40

県平均値(R5)かつ全国平均値(R5)未満

重点課題および要因

情意面

男子は、運動やスポーツに対しても保健体育の授業に対しても肯定的な回答をしており、運動習慣も身につけている。女子は、保健体育の授業に対しては肯定的に捉えているが、運動やスポーツについては、6割の生徒が否定的な印象を持っており、運動を全くしないという生徒も存在し、運動への苦手意識があるのではないかと考えている。

体力面

男子、女子ともに多くの種目において県平均及び全国平均値を下回っている。特に女子においては、運動やスポーツに対して否定的な印象を持つ生徒ほど体力合計点が低い傾向が見られた。また、男女ともに週に3日以上運動をしていると回答している生徒が多いが、そのうちの多くが、1日あたり30分未満や1時間未満と運動時間自体が少ないことが原因とされている。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

保健体育の授業で行う取組内容

- ・各単元に関連したダッシュやランニングなどの補強運動を取り入れ、敏捷性や筋力を高める。
- ・運動やスポーツに対して少しずつでも肯定的な印象を持たせられるようにスモールステップでの学習や積極的に肯定的なフィードバックを行い、運動での成功体験や有能感を味わえる授業づくりを展開していく。

保健体育の授業以外で行う取組内容

体力テストの結果をもとに、自己の体力の課題を分析し、課題を解決するための補強運動を考えさせ、家庭でも実施できるようにしていく。

2024年度(R6年度)の重点目標値

- ・運動やスポーツをすることが「好き」もしくは「やや好き」と回答する生徒を90%以上にする。
- ・「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均以上にするため、男子は11回、女子は3回記録を伸ばす。
- ・「50m走」を県平均値かつ全国平均以上にするため、男女ともに0.2秒記録を伸ばす。